

社会的養護における「育ち」「育て」を考える研究会（概要）
～つながりのある健やかな「育ち」「育て」を目指して～

国立武蔵野学院

1. 設置の趣旨

現在、社会的養護においては、施設や里親、児童相談所等各種別間の連携や意思統一が十分とは言えない状況にある。そのため、社会的養護の下で暮らす子どもに対し、必ずしも関係機関の連携・協働に基づいた最適の養育環境が与えられ、子どもがつながりのあるみちすじを主体的に歩むことができているとは言い難い状況がある。

これを踏まえ、社会的養護の下で暮らすすべての子どもの、つながりのある健やかな「育ち」「育て」を目指して、各関係団体が十分な協働・連携のもと、ケアの質の強化を図るための継続的な検討を実施していく場が必要であることから、社会的養護関係者からなる本研究会を国立機関である当学院に設置するものである。

2. 主催、開催

国立武蔵野学院

3. 委員等の構成（委員名簿参照）

- (1) 社会的養護関係団体から派遣された者（各1名）
- (2) 学識者（5名程度）
- (3) オブザーバー（厚生労働省）
- (4) 事務局（国立武蔵野学院）

4. 研究内容

社会的養護の下で生活するすべての子どもの養育に共通する理解・認識を深め、つながりのある主体的な子どもの健やかな歩みを保障するために、各種別に共通する養育・支援面の課題を検討し、その課題を踏まえ、毎年度テーマを掲げて、具体的な養育・支援のあり方について研究する。

【平成22年度テーマ 「子どもの歩みをつなげる養育・支援について」】

5. 開催日程

平成22年度以降、年2～3回の全体会議を開催し、その後必要に応じて小委員会毎に検討・作業を行い、毎年度末までに検討した内容について発表する機会（発表会など）を設ける。

第1回研究会開催 平成22年1月25日

委 員 名 簿

団体（機関）名	所 属	氏 名
全国児童養護施設協議会	八楽児童寮 施設長	太田 一平
全国乳児福祉協議会	小鳩乳児院 施設長	山本 朝美
全国母子生活支援施設協議会	仙台市社会事業協会事務局長	菅田 賢治
全国情緒障害児短期治療施設協議会	兵庫県立清水が丘学園次長	塩見 守
全国児童自立支援施設協議会	東京都立誠明学園福祉係長	山澄 正康
全国里親会	大阪府里親（IFCO 理事）	渡邊 守
全国自立援助ホーム連絡協議会	憩いの家	三好 洋子
日本ファミリーホーム協議会	陽気ぐらしの家 わかさ	若狭 一廣
全国児童家庭支援センター協議会	同仁会児童家庭センター SW	芳賀 英友
全国児童相談所長会	東京都児童相談センター副参事	影山 孝
社会的養護当事者団体	日向ぼっこ代表	渡井さゆり
東京国際大学	人間社会学部准教授	※村井 美紀
日本社会事業大学	専門職大学院准教授	宮島 清
関東学院大学	文学部准教授	澁谷 昌史
山梨大学	教育人間科学部准教授	酒井 厚
埼玉県立小児医療センター	精神科医長	星野 崇啓
[オブザーバー] 厚生労働省 雇用均等・児童家庭局	家庭福祉課 児童福祉専門官	前河 桜
[主催者事務局] 国立武蔵野学院（国立武蔵野学院附 属児童自立支援専門員養成所）	院長（養成所長） 調査課長（養成所副所長） 企画調整官	相澤 仁 奥山 隆 河尻 恵

※は委員長